

部局名

農学部 畜産草地科学科

担当:高橋 俊浩

テーマ

動物にとっての栄養学



ヒトにはヒトの栄養学、動物には動物の栄養学です。ヒトやペットが健康で暮らすための栄養学と、家畜を中心とした動物の栄養学はどのように違うのでしょうか？我々が家畜を飼育するポイントは、ヒトの食糧と競合することなく動物を養い、動物の身体を通してヒトの食物を作り出すことです。そのための栄養研究のひとつが、ヒトが食べ物を作る過程で発生する食品残さを安全で有効に動物の飼料にする「エコフィード」の研究です。



詳細内容はQRコードから確認できます

のうがく図鑑: <https://www.miyazaki-u.ac.jp/agr/books/book-ags/post-54.html>



大型機械を使って、言わばウシの給食を作っているところです。配合飼料と草を別々に与えるやり方よりも飼育の省力化に繋がり、この研究では地域の未利用資源を組み合わせることで飼料の自給を目指しています。



弁当工場では、パンのミミも大量に出てきます。これはそのまま食べられそうなパンです。豚の飼料に加工すれば良質なでんぷん質としてとても良い飼料原料になります。



作った飼料で実際にブタを飼育し、その肉を研究室で評価や科学分析をします。食べさせる飼料の栄養価の違いは、ブタの育ちだけでなく、肉の成分や味の違いに表れます。